

民具BANKとは

民具BANKは「食料銀行」を意味する社会福祉活動フードバンクのように、まだ使えるのに様々な理由で処分されてしまう民具を収集し、活用していくことを目的としたプロジェクトです。民具は人々の暮らしの側にあった里山や竹林など、地域と文脈のあるの自然素材を用いて作られてきました。その民具には現代の物質社会において私たちが失ってしまった自然と暮らしを繋ぐ人々の知恵が詰まっています。

民具BANKでは収集した民具を物として保存することを第一の目的とはしていません。手で触れ、道具として身体で扱うこと。また、時には分解してその構造を学ぶなど、「身体」「技法」「素材」「風土」と様々な視点から活用することで、その知恵を身体を通して体感しながら地域や人々に繋いでいきます。

小屋も民具

小屋は人が長期に渡って暮らす住宅とは異なり、多くは人が作業をしたり休憩するために使われる建築物です。大きさも手頃で一人や数人で建てることができることから材料は身の回りで手に入る素材や不要となったものを転用し、またその工法は誰でもできそうな技術で作られています。小屋はちゃんとした建築物ではないために見過ごされてしまいますが、工芸品にはない民具のような常用品の手つきと味わいがあります。

竹の小屋から考える

本企画〈民具から考える暮らしの素材と知恵の循環法〉は身体0ベース運用法の民具BANKプロジェクトが主催する企画として、2022年から開催しています。第二回の昨年度からは地域資源を活かす実践的なワークショップとして〈竹小屋づくり編〉を開催し、地域の竹を使った基礎や床づくりから竹のデッキを作りました。続く第三回の今回は屋根や壁面作りを学び、竹の小屋づくりに必要な技術を修得します。

竹はその特性から暮らしに必要な素材として重宝されてきましたが、現代ではプラスチックの発達などにより、人の手からは離れてしまいました。そして、いつしか竹は人が暮らす地域で竹害として嫌われる存在となってしまいました。

近年の木材などの資源価格高騰を考えると、資本主義経済による資源の巨大な循環は限界に来つつあると思います。これからは日本でもかつて行われていた小さな環境の中で資源を循環させる方法を見直すことが必要ではないかと考えま。そして、資本による価値基準ではなく、地域や人との繋がりを作ること。そこにある意味と価値を大切にしていくことが必要であると考えています。

そこで、今回もタイの山岳民族アカ族の村にてバンブーハウス（竹の家）を作る武者修行ツアーや現地地で研究調査を行う伊藤洋志さんと福田真澄さんを講師として竹小屋を作るワークショップの続編を開催します。タイの山間部にて現在も行われている地域の竹を活用した暮らしの知恵を、小屋づくりを通して学びます。

身体0ベース運用法

「身体0ベース運用法」は染色作家安藤隆一郎による「ものづくりの視点」から考える身体論です。「身体」と「もの」との関わりから生まれる感覚、運動、機能を「0」から見直し、人間が本来持っている「身体」の運用法を見出します。その「身体」とは医学やスポーツといった専門的なものではなく、私たちの身の回りにある「身体」です。2021年より民具を日常生活から身体を育むトレーニングマシンとして捉え、「民具BANK」プロジェクトとして収集活用する活動をはじめます。

安藤隆一郎



染色作家。1984年京都生まれ。京都市立芸術大学工芸科染織専攻修士課程修了。京都市立芸術大学染織専攻准教授。| website: <https://www.shintai-0-base.com> | Instagram: [shintai.0.base](https://www.instagram.com/shintai.0.base)

会場

鹿谷ワンダービレッジ

〒621-0037

京都府亀岡市稗田野町鹿谷清水谷20-1

車：

- ・京都縦貫自動車道「大井」ICより約5分
- ・もしくは「亀岡」ICより約10分

*駐車場完備

電車+バス：

- ・JR並河駅から先端科学大学行きバスで「鹿谷」バス停下車、徒歩約5分
- ・JR亀岡駅から園部駅行きバスで「国道佐伯」バス停下車、徒歩約10分



イベント詳細

<https://mingu.shintai-0-base.com/news/519/>



イベント申し込み

<https://mingubank.peatix.com/events>



民具BANK

2021年より亀岡市を拠点に身体0ベース運用法が主催する民具BANKは2023年に2021年に解体した曾我部の農機具小屋を鹿谷ワンダービレッジ内に移築し、これまで収集した民具を保管し、活用する場所を作ります。この場所は多くの人に開かれ、共に民具を通して多くを学ぶ場所となります。

website: <https://mingu.shintai-0-base.com/>

Instagram: [mingu.bank](https://www.instagram.com/mingu.bank)

お問い合わせ：民具BANK＝Email: mingu.bank@gmail.com / Tel: 090 7112 8799

主催：身体0ベース運用法 民具BANKプロジェクト

協力：鹿谷ワンダービレッジ | 助成：地域交響プロジェクト

民具BANK

民具から考える



暮らしの素材と知恵の循環法

竹小屋づくり続編

聞く／アカ族にみる
住まいの知恵
Youtube動画 2025年2月14日（金）14時～
暮らしの住まいに竹を活かす方法を知る。

作る／つなげる手業
2025年3月14日（金）・15日（土）・16日（日）
竹を使った壁と屋根の作りかたを学ぶ。

1 聞く

——アカ族にみる住まいの知恵

暮らしの住まいに竹を活かす方法を知る。



公開：Youtubeチャンネル「身体0ベース運用法」

<https://www.youtube.com/@shintai-0-base/featured>

日時：2月14日(金) 14:00-

視聴：無料

内容

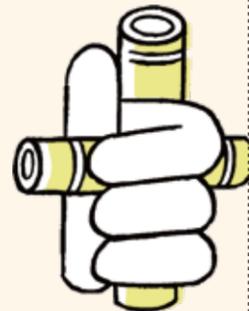
タイ、アカ族ユースック村の現地調査の話や前回WSの振り返りから、竹を住まいに活かす技法や知恵についてお話しします。



2 作る

——つなげる手業

資源を素材に変換し、活用する術を学ぶ



講師：伊藤洋志（ナリワイ代表）・福田真澄（大工見習い）

会場：鹿谷ワンダービレッジ

日程：2025年3月14日(金)・15日(土)・16日(日)

時間：10:00-17:00(各日)

定員：15名

対象：高校生以上（中学生以下の場合は保護者も参加必須）

参加費：1日参加／¥5,000（割引：¥4,000）

2日参加／¥9,000（割引：¥8,000）

3日参加／¥13,000（割引：¥12,000）

*割引価格対象は学生、前回参加者。

持ち物：作業服・長靴・雨具・軍手・帽子・タオル・

竹用のこぎり・鉋・飲み物

※竹用ノコギリ、ナタは共用のものは少ないため、各自ご用意ください。

※アカ族のタイ式鉋の販売も行います。

昼食：大人¥600・子供¥400 *事前申込制

（土鍋で炊いたお米のおにぎりと採れたて野菜の汁物）

内容

アカ族のバンブーハウスの建築技術を使って前回WSで制作した竹のデッキを土台に柱や壁、屋根を作り、竹の小屋を建てる技術を学ばれます。今回初めて参加する人でも、素材の調達から建てるまで一通りの技術を持って帰ってもらいます。



伊藤洋志（ナリワイ代表）

香川県出身。京都大学農学部卒業後、11ヶ月ほど会社員を経てナリワイを発足。仕事の民主化をテーマに、複数の生業（なりわい）を持つ自営業の実践と研究に取り組む。小さい元手で始められて技が身に付き心身が鍛えられる仕事を〈ナリワイ〉と定義し、シェアアトリエや空き家の改修運営や「モンゴル武者修行」、「遊撃農家」などのナリワイを開発し自ら実践するほか「全国床張り協会」といったギルド的団体の運営を行う。著書に『ナリワイをつくる』『小商いのはじめかた』『フルサトをつくる』（いずれも東京書籍）がある。

最新作『イドコロをつくる』（東京書籍）

Web: <https://nariwaibook.tumblr.com>

Instagram: <https://www.instagram.com/ninjamargame/>



福田真澄（大工見習い）

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科卒。民具資料の実測図作成、保存修復に従事するうちに民家への興味が高まる。タイ武者修行に参加した後、滋賀県にて大工の見習いになる。タイ武者修行で訪ねたユースック村の記録を取るため、伊藤氏やタイ武者修行経験者数名のチームで定期的に村に通う。

14日 竹の調達・基礎づくり

竹を鉋で切って運び出し、加工し、柱を地面に埋めて水平に竹を組んで基礎を作ります。

15日 屋根づくり

竹で屋根の骨組みを作り、屋根材を張ります。
*屋根材には波板を使用します。

16日 壁づくり

丸い竹を鉋で加工して一枚の板にし、壁面材を作ります。基礎に加工したフレームに組み合わせて壁を立ます。

